



藤田 まこと

No. 8

議会だより

九月定例会

発行者 藤田 まこと
 事務所 青森市中央1丁目22-5
 青森市議会
 社民党・市民の会控室
 TEL:017-734-5692
 FAX:017-722-8902
 印刷所 スタジオとまと
 TEL/FAX:017-761-2770

青森市中期財政見通し(平成24年8月試算)が示された

平成25年度当初予算編成方針を決定する前に、青森市から中期財政見通しが示された。

これによると現在懸案となっている事業を全て実施すると、48.3%のマイナスシーリング(法定義務のない事業の歳出を48.3%抑制すること)となり非現実的であることから、内部管理経費の圧縮や行政改革の強化、事業の先送りなどを行いシーリング率をマイナス17.5%とする案となっている。

しかしながら、このマイナス17.5%案は旧県青年の家取得、国が進めようとしている33人学級の市単独での実施、現青森駅周辺まちづくり関連事業(東西自由通路整備)の実施が盛り込まれている。仮にこの3事業を実施しないこととするとマイナス10%のシーリングになる。

これまでは市が一方的に実施事業を決定し予算編成方針を市議会に報告してきたが、鹿内市長は市が決定する前に今後の財政見通しを議会に示し、各会派から意見を聞いた後に編成方針を決定することとした手法は、議会を重視したもので、評価できるものです。



予 定 事 業	シーリング率
①懸案となっている事業を全て実施した場合	△48.3%
②内部管理経費圧縮などの実施によるシーリング緩和率	30.7%
③今回提示された市の案(①+②)	△17.5%
④旧県青年の家取得を見送った場合のシーリング緩和率	2.1%
⑤33人学級の市単独実施を見送った場合のシーリング緩和率	3.5%
⑥現青森駅周辺まちづくり関連事業を見送った場合のシーリング緩和率	1.9%
④～⑥の実施を見送った場合のシーリング率(③+④+⑤+⑥)	△10.0%

平成24年 第3回定例会閉会

平成24年8月29日～10月2日

■主な議案

議案第128号～議案第129号 7月5日、16日の豪雨の復旧関連に要した経費(合計2億6267万2千円)

専決処分の承認について(補正予算4号.5号)

議案第130号 一般会計補正予算(15億7815万9千円)

防災対策事業関連(防災倉庫、小学校23校への非常用装備品整備・消防庁舎・浪岡庁舎・中世の館の非常発電機整備費用、要援護者支援事業)

災害復旧関連(道路・河川・農業施設・林業施設の復旧工事費用)

浪岡徳才子地区の難視聴対策、東市民館、矢作市民館改修費用、プラスチック分別収集変更の周知啓発費用、不活化ポリオワクチンを三種混合に加える事業、青森駅東口交通調査経費、社会教育委員運営経費、食育推進事業、扶助費関連(障害者自立支援関連)、平成23年度事業費精算に係る国・県への償還金等

議案第131号～145号 特別会計補正予算

議案第146号～議案第152号 条例の制定・規約の変更・町名変更

(長期継続契約・社会教育委員・災害対策本部・水道事業の条例の制定)

(消防組合の規約変更・後期高齢連合規約変更・戸山団地の住居表示の変更)

議案第153号～第156号 各会計の決算の認定について

■報告の部

報告第27号健全化判断比率の報告～報告第36号専決処分の報告

平成23年度青森市一般会計等の決算に係る健全化判断比率

	実質赤字比率	凍結実績赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
早期健全化基準	11.25	16.25	25.0	350
算定値	—	—	13.3	144.2

公立大学平成23年度の業務実績評価の報告

公立大学の業務実績報告書及び大学への聴取等に基づき調査・分析を行い、項目別評価及び全体評価が行われ、授業料減免等震災対策等柔軟かつ弾力的な事業展開により、業務運営の改善及び効率化等により利益を上げるなど、ほぼ計画通りに実施されており、おおむね順調な進捗状況にあると評価されています。

一般質問



雪対策について

雪問題対策市民会議において議論され、今冬から雪処理計画を大きく見直すことから、今冬に向けての除排雪対策の五項目について質問した。

1. 小学校周辺の通学路の恒久的な雪対策について

青森市内小学校48校のうち39校の調査を参考に学校周辺の通学路の冬期間の安全対策について質問

答弁 市内全ての通学路の融雪歩道や流・融雪溝の整備をするのは困難であるが、「青森市雪処理基本計画」、青森市冬期バリアフリー計画等のエリア内の通学路には特に配慮し、計画の見直しを進めていく。

2. 市民雪寄せ場の排雪について

雪を寄せる・捨てる場所を確保すれば、苦情が少なくなるので、市民雪寄せ場の雪の上り坂が急にならないうちに定期的に排雪して欲しい事から質問

答弁 市民雪寄せ場は管理等を市民の皆さまにお願いし、基本的には排雪は行っていない。昨冬は豪雪災害として緊急度の高い市民雪寄せ場について排雪を行った。今年度はパトロールを強化し、必要と判断したとき、豪雪災害の前倒しを行い、排雪できるように弾力的運用をしていく。

3. バス路線の除排雪について

バス路線の中で冬期間毎年運行がでなくなる路線が数カ所あると聞き、その対策について質問

答弁 バス路線は特に重要な路線と位置

づけている。

今冬は交通部からの情報提供を受けパトロールを強化し、連絡を密に、国・県・市の道路連絡調整会議でバスの運行に支障の無いようにする。

4. 苦情処理対策について

これまで、何回か質問してきましたが、除排雪が緊急に必要な場合、市直営の除排雪体制を確保し迅速に対応すべしと質問

答弁 行政サービスの向上と行政コストの削減を図るため民間委託を進めてきた。平成15年にすべてが民間化され、直営では困難であるので、緊急時災害時において速やかに対応可能な民間業者を数社選定している他、人力対応が可能な場所は市の職員で対応している。

5. 狭隘道路の除雪方針について

昨年度の狭隘路線(狭い道路)の除排雪の実施状況が良くないことから質問

答弁 道路幅が2.5m〜3mで除排雪道路の長さは22.8kmとなっており、通常の除雪機では困難な路線となっている。これまでは主に沿線住民の皆さまからの情報提供に基づきパトロールで現場確認してきたが、今冬はパトロールを東西に配置しパトロールを強化する。

農作物の被害について

平成24年7月16日の大雨被害状況とその対策について質問した。

答弁 農業施設と農作物の被害状況

その対応として、7月19日「農業相談所」を開設し、被害情報の受付や相談や、支援事業の情報提供等行ってきた。

速やかな応急復旧工事として、7月23日に4950

万円、8月3日に2410万円の補正予算を専決し、

緊急度の高い箇所からの復旧工事を行ってきたため、今定例会に9560万円の補正予算を提案している。

再質問の中で、青森空港の滑走路の雨水対策としての四つある遊水池の課題や高速道路の排水が集まるの事よつての洪水との関連を県に尋ねるよう要望した。



	農業施設		農作物	
	被害件数	被害額	被害面積	被害額
青森地域	153	7184万円	7.8ha	774万4千円
浪岡地域	76	6936万円	1.2ha	166万6千円
合計	229	1億4120万円	9.0ha	941万円
被害総額	1億5061万円			

一般廃棄物の処分手数料の後納払いについて

現金支払いによる、現金紛失事故を防止するため、後払いについて質問した。

答弁 前払い等検討したが、現行法制度上、市が事前にお金を預かる事ができない事や未納が発生したとき手数料が回収できなくなる恐れがあることから、これまで通り現金払いを継続することが、現時点で最適な方法である。

ボランティア清掃時の処分手数料の減免について

気軽にボランティア清掃ができるように、手続きの簡素化を求めた

答弁 処分手数料10kg100円を減免する申請には住所、氏名、押印、連絡先、申請の理由、搬入先の施設名、搬入期間、搬入する車両番号を記入し、承認書の交付を受けるものです。今後市民の皆さまにボランティア清掃について周知をしていく。

道路整備について

中心市街地の無電柱化や融雪道路等の整備状況を質問した

答弁 無電柱化推進計画の最終段階で、市道平和公園通りホテル青森から国道四号線までの約200mの電線類を入れる管路本体の敷設工事を終え、今年度各戸への引き込み管の敷設工事を行っており、その後歩道融雪施設等の歩道整備を行い、平成27年完成予定である。歩道融雪施設等の歩道整備や無電柱化推進計画は新たな策定をしていく。

決算委員会

1. 国保会計について
2. 冷房の再利用による窓口の改善について
3. 被災地の職員派遣について
4. 青森駅前交番前付近に案内板の設置
市内の公園のWC表示についての改善
事業系一般廃棄物収集業者の後納払いについて再検討
ボランティア清掃等の減免手続きの簡略化
紙の削減対策、デジタル化の促進

☆ご意見・ご要望をお待ちしています☆

社民党・市民の会控室 藤田 まこと
TEL:017-734-5692 FAX:017-722-8902